

【担当教員名】 小林 一美	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

1. 栄養は人間が健康的に生きるために必要不可欠であるだけでなく、病気の予防・治療においても非常に重要である。
看護師として臨床栄養学知識を高めることの意義は大きい。
2. 臨床栄養学は基礎的な入門と位置づけられる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 疾病予防及び治療における臨床栄養学（含生化学）知識の修得。
2. 臨床検査結果と臨床栄養の関連について理解する。
3. 生活習慣病を中心に疾患別食事療法の概要を理解する。
4. チーム医療としてのクリティカルパスや、栄養アセスメントなどへの栄養的アプローチを理解する。
5. 栄養知識を高め、自己の栄養管理ができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	臨床栄養学総論	栄養学の基礎、栄養アセスメント	講義、VTR
2	疾病別食事療法	消化吸収、胃腸疾患、下痢、便秘	講義、VTR
3		嚥下・摂食障害、低栄養と食事	講義、VTR
4	内分泌・代謝	糖尿病、糖尿病合併症の食事	講義、VTR
5		腎臓病、透析と食事	講義、VTR
6	循環器	高血圧、心疾患、高脂血症と食事	講義、VTR
7		肝臓、胆のう、膵臓疾患と食事	講義、VTR

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	エッセンシャル臨床栄養学	佐藤和人他	医歯薬出版	最新版 3,200円
	新食品成分表 Foods		一橋出版	最新版 760円
参考書				
その他の資料	補助資料 適宜プリント			

【評価方法】

レポート、試験、出席などの総合的評価

【履修上の留意点】

予備知識としてのレポート作成で、自己の授業の効率を高める。